

【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
 ※1 1回線送電線(1バンク運用)のため1回線(1バンク)設備容量を記載
 ※2 3回線送電線(3バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し2回線(2バンク)分の容量を記載
 ※3 4回線送電線(4バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し3回線(3バンク)分の容量を記載
- (2) 空容量は目安であり、系統接続の前に接続検討をお申込みいただき、その検討の中で接続点に応じた空容量を精査した上で、必要な対策を回答いたします。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
 #1 基幹系ループ系統のため
 #2 1回線送電線のため
 #3 1バンク変電所(分割運用等含む)のため
 #4 配電用変電所のため(高圧電源の系統連系の場合、N-1電制は対象外となります。)
 #5 安定度制約のため(制約が確認できているもの)
 #6 2回線送電線の分割運用等のため
- (5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系等考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討を行い必要な対策を回答します。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。なお、連系先が3年以内に増強した設備の場合、今後増強予定の場合、または、電源接続案件募集プロセスが現在進行中のエリアや、フェンス管理している送電線については、運用容量、空容量、またはN-1電制適用可否・N-1電制適用可能量について別途検討が必要等の理由により、備考欄に「●」を記載しております。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開していません。
- (9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (10) 電力広域的運営推進機関から示された「想定潮流の合理化」適用後の空容量です。
- (11) 空容量は主に送電線や変圧器容量に基づき算定しており、変電所構内機器の制約などは考慮していません。このため、連系にあたり変電所構内機器の取替が必要となる場合があります。
- (12) 会社間連系または他エリアとの接しよう送電線・変圧器であり電源の接続に関して別途協議が必要な設備については、備考欄に「◆」を記載しております。
- (13) 進行中の電源接続案件募集プロセスの状況によって、空容量を見直す場合があります。
- (14) 離島については、系統規模が小さいことから、系統連系に係る申込みは個別に検討、協議させていただきます。
- (15) 暫定的な系統容量の確保は、不備のない契約申込み書類を受付けた日となりますが、公表している空容量は契約申込みの書類不備解消を確認してから算定しております。このため、空容量以下の容量の系統連系を希望される場合であっても、上位系統の送電設備の増強工事が必要となる場合があります。増強工事内容については、接続検討にて検討を行い回答いたします。
- (16) 配電用変圧器等の設備容量、運用容量値は、変圧器本体の値を記載しております。また、配電用変圧器等の空容量は、変圧器が複数台ある場合は各変圧器のうち最小値を記載しております。

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量	備考
							当該設備	上位系等考慮			
311A	釈迦内線	66	2	102	51	熱容量	-	0	-	-	●
311B	矢立線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●
311C	坂梨支線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●
312A	鹿角線	66	2	102	67	熱容量	-	0	-	-	●
312B	花輪線	66	2	102	65	熱容量	-	0	-	-	●
312C	312C線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●
312D	澄川線	66	2	110	65	熱容量	-	0	-	-	●
312E	312E線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●
312F	湯瀬線	33	1	10	10	熱容量	-	0	-	-	※1 ●
312G	312G線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●
313A	桂線	66	2	150	86	熱容量	-	0	-	-	●
313B	313B線	66	1	51	51	熱容量	-	0	-	-	※1 ●
313C	313C線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●
313D	桂鷹線	66	2	96	64	熱容量	-	0	-	-	●
313E	岩瀬支線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	●
313G	313G線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●
313H	313H線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●
313J	ニッ井支線	66	1	53	53	熱容量	-	0	-	-	※1 ●
313K	鷹ノ巣線	66	1	51	51	熱容量	-	0	-	-	※1 ●
313M	小米線	66	1	51	51	熱容量	-	0	-	-	※1 ●
313N	小又川線	66	1	51	51	熱容量	-	0	-	-	※1 ●
313P	313P線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●
313Q	森吉山線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●
313R	阿仁線	33	1	14	14	熱容量	-	0	-	-	※1 ●
321A	能代東線	66	2	162	109	熱容量	-	0	-	-	●
321B	東雲線	66	1	47	47	熱容量	-	0	-	-	※1 ●
321C	米代線	66	1	51	51	熱容量	-	0	-	-	※1 ●
321D	321D線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●
321E	森岳線	66	1	47	47	熱容量	-	0	-	-	※1 ●
321F	321F線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●
321G	八森線	33	1	15	15	熱容量	-	0	-	-	※1 ●
321H	321H線	33	1	15	15	熱容量	-	0	-	-	※1 ●
331A	能代線	66	2	158	92	熱容量	-	0	-	-	●
331B	湖東支線	66	2	116	72	熱容量	-	0	-	-	●
331C	山本線	66	1	43	43	熱容量	-	0	-	-	※1 ●
331D	331D線	66	1	47	47	熱容量	-	0	-	-	※1 ●
331E	八郎湯線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●
331F	331F線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●
332A	大久保線	66	2	150	86	熱容量	-	0	-	-	●
332B	船越線	66	2	130	72	熱容量	-	0	-	-	●
332C	船川線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	●
332D	払戸支線	66	1	32	32	熱容量	-	0	-	-	※1 ●
332E	332E線	33	1	16	16	熱容量	-	0	-	-	※1 ●
332F	332F線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●
332G	332G線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●
333A	添川線	66	2	132	88	熱容量	-	0	-	-	●
333B	飯島支線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	●
333C	土崎支線	66	2	162	86	熱容量	-	0	-	-	●
333D	八橋北線	66	2	88	88	熱容量	-	0	-	-	●
333E	333E線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●
341A	八橋南線	66	2	104	61	熱容量	-	0	-	-	●
341B	341B線	66	1	58	58	熱容量	-	0	-	-	※1 ●
341C	341C線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●
341D	341D線	66	1	58	58	熱容量	-	0	-	-	※1 ●
341E	341E線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●
341F	341F線	66	1	49	49	熱容量	-	0	-	-	※1 ●
342A	山王線	66	2	92	86	熱容量	-	0	-	-	●
343A	大川反線	66	2	104	104	熱容量	-	0	-	-	●
343B	茨島線	66	2	56	56	熱容量	-	0	-	-	●
343C	343C線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●
343D	343D線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	◇ ●
343E	新屋線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	●
343F	343F線	66	1	43	43	熱容量	-	0	-	-	※1 ●

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量	備考	
							当該設備	上位系等考慮				
343G	343G線	66	1	47	47	熱容量	-	0	-	-	※1 ●	
343H	343H線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
344A	南通線	66	2	194	108	熱容量	-	0	-	-	●	
344B	広小路線	66	2	34	34	熱容量	-	0	-	-	●	
351A	御所野線	66	2	132	86	熱容量	-	0	-	-	●	
351B	351B線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	◇ ●	
351C	手形支線	66	2	130	72	熱容量	-	0	-	-	●	
351D	手形南線	66	2	74	74	熱容量	-	0	-	-	●	
352A	352A線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
353A	牛島日線	66	2	116	65	熱容量	-	0	-	-	●	
353B	353B線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
354A	協和線	66	2	100	56	熱容量	-	0	-	-	●	
354B	354B線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
354C	南河辺支線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	●	
354D	354D線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
354E	荒川線	66	2	100	56	熱容量	-	0	-	-	●	
354F	刈和野支線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	●	
354G	神代線	66	2	98	64	熱容量	-	0	-	-	●	
354H	先達南線	66	1	51	51	熱容量	-	0	-	-	※1 ●	
354J	354J線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
354K	先達北線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
354M	354M線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
354N	354N線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
354P	鏝畑支線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
354Q	夏瀬線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
354R	大神線	66	2	158	91	熱容量	-	0	-	-	●	
354S	角館支線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	●	
354T	大曲線	66	2	158	79	熱容量	-	0	-	-	●	
355A	岩谷線	66	2	100	56	熱容量	-	0	-	-	●	
355B	川添支線	66	2	86	52	熱容量	-	0	-	-	●	
355C	羽川線	33	1	16	16	熱容量	-	0	-	-	※1 ●	
355D	雄和石田支線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	◇ ●	
355G	岩城亀田支線	66	2	116	68	熱容量	-	0	-	-	●	
355E	大内三川支線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	◇ ●	
355F	松本支線	66	2	86	86	熱容量	-	0	-	-	●	
356A	356A線	66	2	52	52	熱容量	-	0	-	-	●	
356B	356B線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	◇ ●	
361A	郷内線	66	2	102	67	熱容量	-	0	-	-	●	
361B	361B線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	◇ ●	
361C	象潟支線	66	2	102	67	熱容量	-	0	-	-	●	
361D	小出支線	66	1	53	53	熱容量	-	0	-	-	※1 ●	
361E	庄内北線	66	1	58	58	熱容量	-	0	-	-	※1 ●	
361F	小滝支線	66	1	16	16	熱容量	-	0	-	-	※1 ●	
361G	361G線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
361H	横岡第一線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
361J	横岡第二線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
361K	白雪川線	3	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
361M	鳥海線	66	2	116	72	熱容量	-	0	-	-	●	
361N	本荘支線	66	2	106	69	熱容量	-	0	-	-	●	
361P	361P線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	◇ ●	
361Q	361Q線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	◇ ●	
361S	361S線	33	1	16	16	熱容量	-	0	-	-	※1 ●	
361T	鳥郷線	66	1	26	26	熱容量	-	0	-	-	※1 ●	
361U	鳥海川第一支線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
361V	鳥海川第三支線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
361W	板平線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
361X	袖川線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
362A	平沢線	66	2	116	65	熱容量	-	0	-	-	●	
362B	362B線	66	2	98	98	熱容量	-	0	-	-	●	
371A	西馬音内線	66	2	158	106	熱容量	-	0	-	-	●	
371B	沼館線	66	2	162	81	熱容量	-	0	-	-	●	
371C	沼美線	66	2	116	68	熱容量	-	0	-	-	●	
371D	371D線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
372A	横手線	66	2	218	123	熱容量	-	0	-	-	●	
372B	372B線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	◇ ●	
372C	羽後増田支線	66	2	102	51	熱容量	-	0	-	-	●	
372D	372D線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	◇ ●	
372E	東成瀬線	33	1	10	10	熱容量	-	0	-	-	※1 ●	
372F	372F線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
372G	大横線	66	2	102	67	熱容量	-	0	-	-	●	
372H	美入野支線	66	2	102	102	熱容量	-	0	-	-	●	
372J	372J線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	◇ ●	
372K	千畑支線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	●	
372M	372M線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	◇ ●	
373A	湯沢線	66	2	102	67	熱容量	-	0	-	-	●	
373B	横堀線	66	2	102	67	熱容量	-	0	-	-	●	
373C	滝の原支線	66	1	43	43	熱容量	-	0	-	-	※1 ●	
373D	373D線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
373E	373E線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
373F	上の岱線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
373G	373G線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	◇ ●	
373J	373J線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
373H	榊山線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	※1 ◇ ●	
232G	田沢線						岩手県を参照願います。					
3Z01	十和田線	33	1	20	20	熱容量	-	0	-	-	※1 ●	
3Z02	男鹿線	33	1	13	13	熱容量	-	0	-	-	※1 ●	